

植田東中学校の後輩の皆さんへ

市毛雄大（植田東中学校平成29年度卒）

私は、3年前に植田東中学校を卒業した市毛雄大です。現在、磐城高校の3年に在学しています。私が中学時代から今の高校までに多くのかけがえのない経験をしてきました。ここで、その経験から学んだことを皆さんに伝え、皆さんの将来に少しでも役立つことを願っています。

実は、校長先生から「先輩から学ぶ」という講演を開いてもらえないかと依頼されましたが、大学受験などでなかなか時間が取れないこともあり、書面で失礼します。

私は植田東中学校でたくさんの経験をしました。特に部活動で経験したことは、今の自分に大きな影響を与えたと感じています。

3年間、野球部に所属して最も印象に残ったことは、3年生になった時メンバーが足りず、野球経験のない人をも他の部活から集め、助けを借りて大会に出場したことです。

私は、自分の代になるまで野球ができていた日常を当たり前に思っていました。しかし、経験がない人と野球をすることで、その大変さを知り一心不乱に野球をプレイしていた日々の有り難さを感じるようになりました。

しかし、この経験から学んだこともあります。それは自分たちで教え合いながら練習する自主性の重要性です。これは経験者だけのチームに所属しては経験できないことであり、今の自分のプレイや練習にも活かしています。

そして毎日、野球のことばかり考え過ごしてきた2年生の3学期、転機が訪れます。それは三者面談で進路の話をしたことです。それまで全く考えたことがなかったため、焦りを感じましたが、高校でも野球を続けたいという思いと大学進学を目指して学力を伸ばしたいという思いから、伝統ある磐城高校を志望することに決めました。2年間、ほとんど勉強をせずに野球をしていたため、偏差値も足りておらず無謀と思える挑戦でした。しかし部活動をやり切りたいと思い、中体連が終わるまでは部活動に専念し、学習はひたすら基礎を固めることに決めました。

その後、部活動を引退し、本格的に受験勉強に取り組み始めたものの、夏休み明けの学力テストで合格ラインには全く届かず、焦燥に駆られました。しかし、磐城高校野球部で甲子園に出ると目標を決め、強い志を持って全ての教科の総復習を始めました。勉強を始めてしばらくすると、学習を地道に積み重ねることで、徐々に点数が上がっていくことを実感しました。

そして無事、磐城高校に入学し野球部への入部も果たした私は、改めて甲子園という目標を掲げ、練習に励みました。1年生の時はレベルの高い練習に身体的にも精神的にも追い詰められ、辞めたいと思う時が何度もありました。しかし甲子園に出るという目標があったため、諦めずに頑張ることができました。勉強面でも、高校受験の時に苦勞した経験から、堅実に取り組むという意識を持ち、周囲に遅れをとらないよう努めました。

3年生になると高い目標に向かってより一層チーム一丸となり、東北大会でベスト8という結果を出すことができました。21世紀枠に選出していただき、目標である甲子園に出場することが決定した時はとても嬉しかったです。

しかし、新型コロナウイルスの影響で練習ができなくなり、様々な大会も中止になってしまいました。他の部活動も同じ状況であるため仕方がないと思いましたが、甲子園という大きな舞台でプレイすることができないと考えると、とても悔しかったです。

さらに、当時の監督、部長、校長先生の3名の離任・退職も重なり、これまでにないほどのショックを受けました。コロナウイルスによる活動自粛明け、磐城高校野球部は今度こそ夏の甲子園に出場し、3名の先生方を甲子園に連れていくという目標を立て、再始動しました。しかし、今までの何倍も気合いが入った練習で甲子園を目指していた私たちに届いたのは、夏の甲子園中止という知らせでした。今まで何のために練習してきたのだろうと強く落胆し、部活動の大きな目標がなくなった今、進路実現のために早期に引退して勉強に専念することが賢明な判断だと考えるようになりました。

その後、3年生だけで集まり、これからどうしたいか、一人ひとり意見を出し合いました。そのミーティングの中で私が今まで野球を続けてきたのは野球が好きだったからだとして再認識し、甲子園がなくてもみんなで野球がしたいという考えに改まりました。他の3年生にも同じことを考えている人が多く、とても嬉しかったです。進路を考えて引退したいという人もいましたが、みんなで話し合いを重ね、最終的には甲子園が無くても全員が最後までやりきると決めました。

そして練習が再開して少し経ったある日、突然ミーティングが行われ、春の甲子園代替大会が開かれるという報告を受けました。様々な障害によりなかなか手の届かなかった甲子園出場がようやく実現するという現実になりました。

ずっと目標にしていた甲子園でのプレイ。勝利を掴むことはできませんでしたが、甲子園の舞台で最後まで諦めずにのびのびと自分のプレイができたことで、支えてくださった方々へ少しでも恩返しが出来たのかなと思います。

磐城高校に合格し、野球部に所属して甲子園に出場するという大きな目標を達成できたことは、目指すものを明確にして努力を重ねてきた結果だと思います。

自分は頭が悪いと決めつけ、最初から諦めて勉強しなくなってしまう人もいるかもしれませんが、私の経験をもって、植田東中の後輩の皆さんにお伝えしたいと思います。

「本気で勉強すれば、その分必ず結果はついてきます。それを自分自身で実感することができれば自信がつき、さらなる学習への意欲に繋がるでしょう。最初の一步を踏み出すのはとても難しいことですが、色々頭で考える前に、まずは進んでチャレンジしてみてください。コロナ禍での勉強は思い通りにいかないこともありますが、小さなことでもいいので、目標を作りそれに向かって突き進んでほしいと思います。そのようにして積み重ねた経験は、必ずこれからの人生に活けると信じています。後輩の皆さん、共に頑張りましょう！」

